

<p>全国クレジット・サラ金</p> <p>被害者連絡協議会ニュース</p> <p>NO.75号 2009.11.28</p> <p>青森りんごの会設立特集</p>	<p>発行 全国クレ・サラ被連協事務局</p> <p>〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-2 育文社ビル3階</p> <p>電話 03(5207)5507</p> <p>FAX 03(5207)5521</p> <p>Eメール:hirenkyo011@nifty.com</p> <p>ホームページ http://www.cre-sara.gr.jp/</p>
--	--

青森多重債務被害等をなくす会(通称青森りんごの会)設立!

一人でも多くの多重債務・消費者被害者の経済的な自立を支援、被害を根絶を!

47都道府県全てでいつでもどこでも相談! 被連協・被害者の会の全国ネットワーク完成

11月23日青森多重債務被害等をなくす会(通称青森りんごの会)の結成集会在青森市民ホールで開催され、被連協加盟の被害者の会が結成されました。

青森りんごの会設立集会是青森りんごの会事務局の高田恵美子さんの司会・進行で進められました。

設立準備会の報告として十枝内康仁弁護士は長年クレジット・サラ金被害の救済のため取組んできた、故郷青森に十枝内総合法律事務所十和田支所を開設し多重債務の相談してきた、青森県に被連協加盟の被害者の会がないことを知り、本年6月より被害者の会準備会を頻繁に開催しこの度の青森多重債務被害等をなくす会(通称青森りんごの会)の結成集会を迎えることができたと報告しました。

設立発起人代表の花田勝彦弁護士は、「深刻化する多重債務問題の解決を目的とした改正貸金業法が2006年12月に成立し、多重債務者対策本部は、『多重債務問題改善プログラム』を策定しました。ここ青森県においても、2007年多重債務者対策を円滑かつ効率的に推進するため、青森県多重債務者対策協議会が設置され、すでに2年が経過しています。多重債務者が真に経済的自立を回復するためには、法的な債務整理にとどまらず、生活再建に向けた家計管理支援や公的福祉制度の活用、心理的ケア、さらには就労支援など、幅広い活動が重要となります。青森県には、そのような多重債務や悪質商法等の消費者被害に遭った被害者を救済するための民間団体が長らく存在せず、多重債務・消費者被害者の相談窓口としても必ずしも十分とはいえない状況がありました。

現在、全国47都道府県のうち、被害者団体が存在しないのは青森県だけとなり、昨今の経済状況の悪化や、青森県独自の問題として、自殺者数がここ数年全国ワースト5以内であるということも深刻な問題として捉えなければなりません。

折しも、本年9月1日に消費者庁が発足し、消費者が主役となる社会の実現に向けた第一歩を踏み出したこの時期に、多重債務・消費者被害の被害者救済と経済的自立支援、さらにはこれら被害の根絶を目的とした組織を民間レベルで立ち上げることは、極めて重要な意義を有す



ると確信する次第です。

こうした状況から、私たちは、このような目的を実現するために、ここ青森県に、「青森多重債務被害等をなくす会（通称青森りんごの会）」を設立することといたしました。

一人でも多くの多重債務・消費者被害者の経済的な自立を支援し、これらの被害を根絶するという目的に賛同していただける個人、団体の皆様に、幅広くご協力をいただき、私たちは、全力を尽くしていきたい。」との設立趣旨を報告しました。

この後「青森多重債務被害等をなくす会（通称青森りんごの会）」の会則、会員・協力員の心得、そして役員の方の提案があり、満場の拍手で「青森多重債務被害等をなくす会（通称青森りんごの会）」の設立を確認しました。

この後来賓の挨拶にたった新里宏二弁護士は、「サラ金規制法が施行された昭和58年に仙台で弁護士登録をした、弁護士として初めての事件が破産事件であった、被連協・被害者の会である、みやぎ青葉の会の活動に参加し、5年ほど会長にもなったことがある、クレジット・サラ金事件は『命の狭間での事件だ』『命を守る闘いでもある』と青森りんごの会の活動に大いに期待している」と祝福の挨拶をされました。

被連協本多良男事務局長は、1981年に東京・大阪・尼崎・広島・鹿児島で結成されていた5つの被害者の会が、サラ金の被害者を無くすため、大阪で「第1回全国サラ金被害者交流集会」を開催し、翌1982年「全国サラ金被害者連絡協議会」が創立されました。

その後、全国に次々とサラ金被害者の会が結成され、青森県で青森りんごの会が結成され、47都道府県89の被害者の会となり、47都道府県全てでいつでもどこでも相談を受けられる、被連協・被害者の会の全国ネットワーク完成となります。12月には「全国ネットワーク完成記念全国一斉多重債務相談110番」を開催したいと報告しました。

青森りんごの会結成の後、宇都宮健児弁護士より「多重債務問題における被害者の会の役割」とのテーマの記念講演がありました。

青森での被害者の会作りについては、弁護士、司法書士、生活センター、青森民主商工会あすなろの会の近江武士さん及び諸団体の方々の協力を受け、本年6月以降、実行委員会を頻繁に開催し、準備を重ねて、この度の結成集会の運びとなりました。

こうして、クレジットカードや消費者金融の多重債務に苦しむ人を支援する「青森多重債務被害等をなくす会（通称青森りんごの会）」ができました。

設立総会後の23日午後、青森市民ホールで無料相談会が開催され、15名の相談がありました。

青森県では、青森民主商工会あすなろの会の近江武士さんを中心に、これまで多重債務の相談を受けていましたが、この度は、弁護士や司法書士など専門家、あすなろの会の相談員らが協力し、青森りんごの会を結成し、全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会にも加盟する会則となっています。青森の仲間の皆様大変心強く思います、共に手を携えて頑張りたいと思います。



青森りんごの会の役員の皆様

青森多重債務被害等をなくす会(通称青森りんごの会)

事務所 青森市古川1丁目17の2、及川ビル4階

電話017-718-3792 FAX017-718-3793

定例相談会は事務所で12月11日から毎月第2、第4金曜日の午後6時～8時

メッセージ

全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会
会長 山地秀樹

青森多重債務被害等をなくす会(青森りんごの会)のみなさまへ

青森多重債務被害等をなくす会(青森りんごの会)設立おめでとうございます。そして、青森りんごの会のみなさん、ようこそ被連協へ。お待ちしております。

1982年、東京・大阪・尼崎・広島・鹿児島島の5団体で被連協(当時の名称は全国サラ金被害者連絡協議会)が創立されてから27年、貴会の結成により日本全国47都道府県すべてに被連協加盟の「クレジット・サラ金被害者の会」ができ、貴会含め89団体の被連協全国ネットが完成することになりました。

さて、出資法金利はご承知のとおり、制定時の年109.5%から29.2%へと段階的に引き下げられ、2006年秋の臨時国会でついに利息制限法利率にまで引き下げられることが決まりました。その金利引下げを含む改正貸金業法は、3年間で段階的に施行され、いよいよ今年12月から遅くとも来年6月までに最終完全施行の段階を迎えることになっています。

ところが、貸金業者側の巻き返し攻勢はこのところ激しくなっており、民主党の一部議員の中にも「貸金業の規制を緩和すべき」と言い出す者がでてきています。こうした貸金業者側の抵抗を跳ね飛ばすため、青森りんごの会のみなさんと一緒に、私たちは「改正貸金業法早期完全施行！」と声をあげていきたいと思えます。どうかお力をお貸してください。

私たち被害者の会の最重要活動は、多重債務で失われていた「健康で文化的な生活」を再び本人に取り戻してもらい「生活立て直し」支援です。収入が少ない人には生活保護などのセーフティネットの活用や、ギャンブルが借金原因の場合はギャンブラーズ・アノニマスとの連携、浪費等が借金原因の場合は家計簿管理の支援など、借金解決後のアフターケアが必要です。また、レクリエーション活動などで会員同士の交流をはかり、多重債務で失っていた“笑顔”を取り戻すこともとても重要なことです。

私たち被連協の活動は、すでに社会的に信頼を得ています。2006年12月金融庁に設置された「多重債務者対策本部有識者会議」のメンバーに、被連協本多良男事務局長が選ばれ、金融庁の「多重債務者相談マニュアル」の相談窓口一覧には、弁護士会・司法書士会とともに多重債務者支援団体として「被連協加盟全ての被害者の会」が紹介されています。

多重債務対策にむけて社会も進みだしていますが、クレサラ被害根絶・貧困根絶にはまだまだ時間を要します。「サラ金利用者はまだ1000万人以上いる」といわれています。クレジット・サラ金・ヤミ金・商工ローン会社がある限りクレサラ被害は存在するでしょう。このような方々を放っておいて私たちの運動を止めることはできません。

金利が下がっても、借金問題が解決した訳ではありません。高利であれ低利であれ、「借金問題」は人を自殺に追い込む大きな原因のひとつなのです。経済生活問題で自ら命を絶ってしまう人は、全国で毎年7000～8000人以上、統計に加算されていない人や借金が原因でうつ病になった人(統計上は病気が原因とされている)を含めると、毎年1万人以上いるとも言われています。こういった人に対して、私たちの声を届けて力にならなければなりません。

青森りんごの会の皆さん、多重債務の根絶と高利貸しのない社会、貧困のない社会実現を目指し、私たち全国の被連協の仲間とこれから一緒にがんばっていきましょう。

「改正貸金業法完全施行！完全施行を実現するぞ！」

10月10日「改正貸金業法早期完全施行を求める東京大集会」とデモ

2009年10月10日「改正貸金業法早期完全施行を求める東京大集会」が開催されました400人を超える参加で熱気あふれる集会となり、集会後、会場の霞が関から新橋を通り銀座まで約250名でデモ行進をしました。「改正貸金業法完全施行！完全施行を実現するぞ！」「グレーゾーン金利はいらないぞ！完全に撤廃させるぞ！」「サラ金は金利を下げろ！」「銀行はサラ金と手を組むな！」「銀行はサラ金に金を貸すな！」・・・等々、人通りの多い土曜日の東京・銀座の街に私たちの声は鳴り響きました。



2009年10月10日（土）

改正貸金業法早期完全施行を求める東京大集会デモ行進
（撮影：三宅勝久氏）

編集後記・事務局より

待望の青森リングの会が結成され、47都道府県89の被害者の会になりました。多重債務者の掘り起こしのためにも、いつでもどこでも相談できる**被連協・被害者の会全国ネットワークの完成記念「全国一斉多重債務相談ウイーク110番」**をしたいと思います。

日時は12月14日ー20日行いたいと思います。「・・・110番」といっても、会の事務所で電話の相談ですから、事務所を開いている日時は「110番」活動ができます。気楽に参加して下さい。各地の被害者の会で都合のよい日時・場所・電話番号を事務局までお知らせ下さい。「・・・110番」のネーミングが大事です。

1. 「今年こそ借金地獄から抜けだそう！未来を明るく命の電話相談」
2. 「借金問題は必ず解決できます！まずは相談しましょう！」
3. 「安心して年を越せる借金相談」
4. 「年の瀬を乗り切ろう借金相談」
5. 「命に代わる借金はありません！ だいじょうぶ解決できるよ！」

ネーミング(案)の提案をお願いします。

事務局長本多良男